

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	れいいんぼう川崎	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 松本 紘 ・住所 川崎市中原区3丁目245番地	評価者	障害計画課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護・施設入所（定員60名） 契約者数 60名（平成23年3月31日現在） 短期入所（定員10名） 延利用者数 3,089名 自立訓練（定員20名） 契約者 46名（機能訓練15名、生活訓練31名） 在宅リハ訪問件数 484名、診療延件数 1,843件																										
収支実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: left;">収入</th> <th style="text-align: left;">支出</th> <th style="text-align: right;">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動 668,355,474円</td> <td>福祉事業活動 652,664,448円</td> <td style="text-align: right;">7,436,520円</td> </tr> <tr> <td>自立支援費等 396,668,652円</td> <td>人件費 441,513,384円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常経費補助金 261,298,203円</td> <td>事務費 71,878,052円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 10,388,619円</td> <td>事業費 58,776,955円</td> <td style="text-align: right;">※指定管理料</td> </tr> <tr> <td>合計 668,355,474円</td> <td>経理区分間繰入金 80,496,057円</td> <td style="text-align: right;">248,567,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設整備等 8,254,506円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 660,918,954円</td> <td></td> </tr> </table>	収入	支出	収支差額	福祉事業活動 668,355,474円	福祉事業活動 652,664,448円	7,436,520円	自立支援費等 396,668,652円	人件費 441,513,384円		経常経費補助金 261,298,203円	事務費 71,878,052円		その他 10,388,619円	事業費 58,776,955円	※指定管理料	合計 668,355,474円	経理区分間繰入金 80,496,057円	248,567,000円		施設整備等 8,254,506円			合計 660,918,954円			
収入	支出	収支差額																									
福祉事業活動 668,355,474円	福祉事業活動 652,664,448円	7,436,520円																									
自立支援費等 396,668,652円	人件費 441,513,384円																										
経常経費補助金 261,298,203円	事務費 71,878,052円																										
その他 10,388,619円	事業費 58,776,955円	※指定管理料																									
合計 668,355,474円	経理区分間繰入金 80,496,057円	248,567,000円																									
	施設整備等 8,254,506円																										
	合計 660,918,954円																										
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の各事業及び北部リハビリテーションセンターと有機的な連携を取って、重度の身体障害者センターとして運営を行っている。 介護と医療のケアが必要な障害者の入所施設として、リハビリテーションを主体とした利用者の能力を引き出すような支援を行っている。 																										

3. 評価（評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・高次脳機能障害の支援システムの一環として、北部リハビリテーションセンターと共同で、事業者向け研修会を年5回開催し、ネットワークの構築に努めている。 ・生活の質の向上のため、それぞれの事業で入浴サービス、給食提供等の充実した支援が図られている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・自立支援費等の安定した収入を得ており、経営状態は良好である。 ・予算に沿った支出がなされており、執行状況及び財産状況について、適正に処理されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・各事業とも施設の機能を最大限利用し、リハビリテーションを主体としたプログラムの充実が図られている。 ・利用者の生活の質を向上させるため、個別支援計画に基づく健康管理及びリハビリテーションサービスを行い、入所部門では、医療職と介護職が連携を取り、情報を共有しながら対応しており、異常の早期発見等に繋がっている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) ・人材の育成は目標達成のための重要な手段と考え、積極的に外部研修にも参加している。 ・北部リハビリテーションセンターと新人指導のための在宅リハマニュアルを作成し、また、同センターと共同で、高次脳機能障害者研修を事業者向けに年5回開催し、ネットワークの構築に努めている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・「クレヨン記録システム」を導入し、日々の記録や給付費の請求などの事務を行い、情報の共有化及び業務の効率化に繋がっている。 ・各種保守、点検等について、適切に行われている。					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→90点以上,B→80点以上90点未満,C→60点以上80点未満,D→40点以上60点未満,E→40点未満
 A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> 施設の研修委員会において、計画的な研修への派遣等を行っている。また、法人としても目標管理制度や各種システムにより、職員の育成を図っていることは評価できる。 地域との交流として、「れいんぼう祭り」の開催や地域保育園・中学校等とのふれあい等、また、関係機関との情報交換や協力など、積極的に連携を図っている。
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> 高齢化や障害の重度化への対応のため、健康管理、医療的ケアを必要とすることが年々増えているが、今後も引き続き、外部医療施設等と連携するなど、利用者ごとの適切な対応が求められる。 利用者の権利擁護について、委員会を開催し取り組みを行っている。今後は職員の意識を向上させ、利用者への良質な支援に繋がることを望む。 利用者満足度調査を定期的実施し、利用者ニーズを把握して、サービスの改善に繋げる。
--